

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

阿波市教育委員会

1 はじめに

今年5月、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、「令和3年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。

阿波市におきましては、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について広く市民に公表し、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら効果的な学力向上対策を推進していきたいと考えています。今後とも、学力向上についてのさまざまな施策の推進にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本市では、学力調査の数値結果や個々の学校名の公表は行っておりません。

2 全国学力・学習状況調査の概要について

(1) 調査対象

○小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童・生徒

(2) 調査内容

①教科に関する調査

- 小学校は国語及び算数とし、中学校は国語、数学とする。
- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できることが望ましい知識・技能。
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に係る内容。

②生活習慣や学習環境等に関する調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査。 など	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査。 など

(3) 実施日 令和3年5月27日(木)

3 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

平成31年度（令和元年度）調査から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されています。

①小学校

教科等	結 果
国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題については、全国平均を上回っています。 文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けながら読んだり、理由を明確にして考えを書いたりすることに課題があります。
算数	「変化と関係」の知識・技能に関する問題については、全国平均と同程度になっています。 「データの活用」や「図形」の問題において、複数のデータを比較し、その割合を言葉や数を用いて書いたり、必要な情報を選び出し、図形について筋道を立てて説明したりすることに課題が見られます。

②中学校

教科等	結 果
国語	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する問題については、全国平均を上回っています。 「読むこと」、「書くこと」に関して、目的に応じて資料を読み解き、自分の考えを書くことに課題があります。
数学	「数学的な技能」、「数量や図形などについての知識・理解」については、全国平均を上回っています。 「関数」、「図形」については、日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したり、表やグラフなどを用いて必要な物質の重さを求める方法を説明したりすることに課題があります。

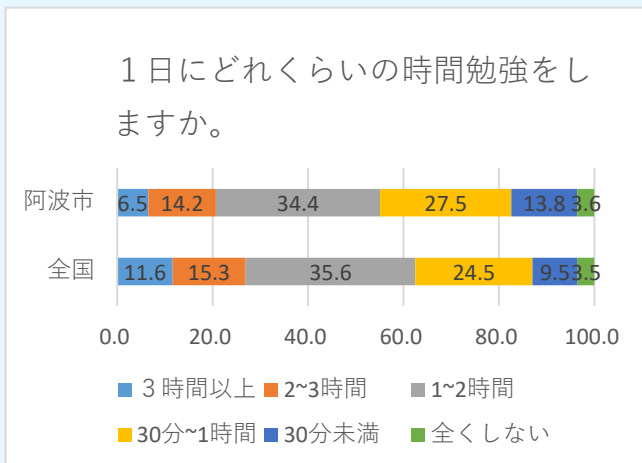
(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査結果

①小学校

○学習時間

「平日に授業以外で1時間以上勉強する」と回答した児童について、全国平均と比較すると8%低いことが分かりました。

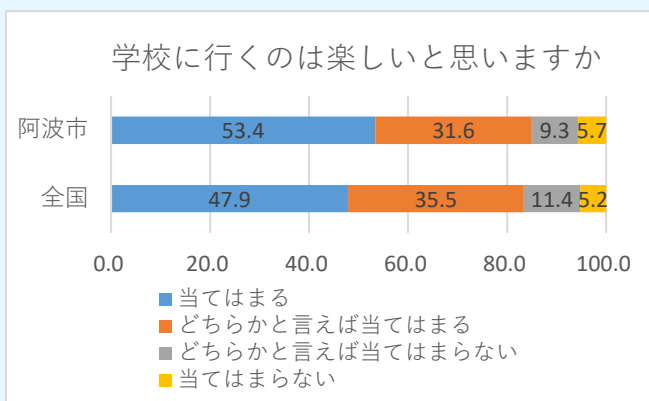
前回調査では、本市の児童は全国平均より3%低かったのですが、差が広がり、学校以外での学習時間の確保が課題となっています。



○学校に行くのは楽しいか

「学校に行くのは楽しい」と回答した児童について、全国平均と比較すると6%高いことが分かりました。

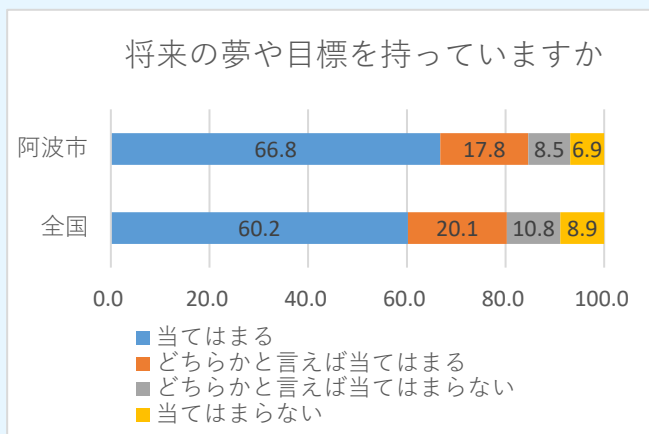
全国ではコロナ禍前の調査と比べると6%減少して、問題となっていますが、本市ではコロナ禍前の全国平均の割合を維持しており、学校での教育活動が充実していたことが分かります。



○夢や目標を持っているか

「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童について、全国平均と比較すると6%高いことが分かりました。

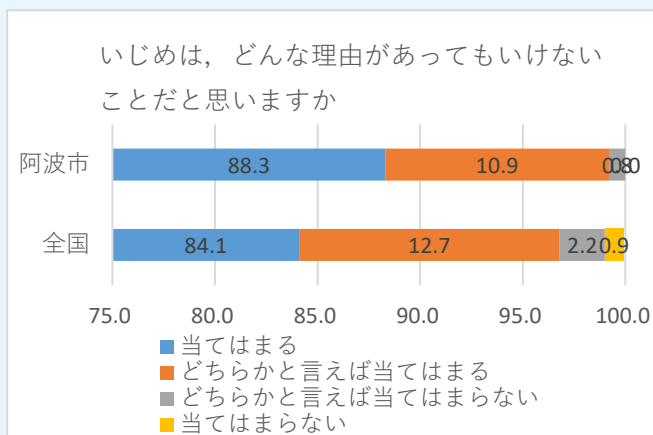
また、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と回答した児童も、全国平均を大きく上回っており、目標や夢の実現に向けて、努力を続けていることが分かります。



○いじめはいけないと思うか

「いじめはどんなことがあってもいけない」と回答した児童について、全国平均と比較すると4%高いことが分かりました。

「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童も、全国平均を大きく上回っており、人を大切にする気持ちが育っていることが分かります。

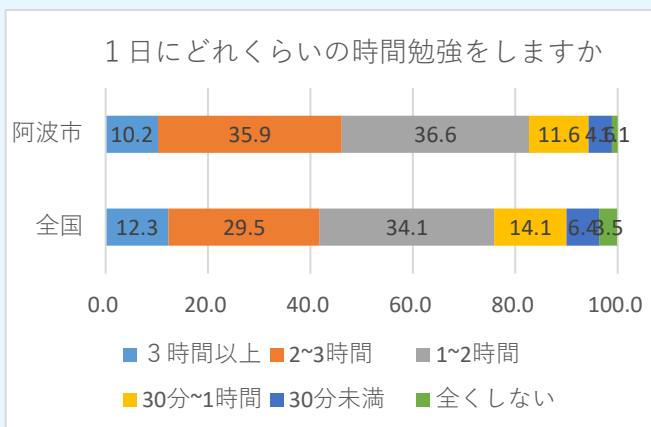


②中学校

○学習時間

「平日に授業以外で1時間以上勉強する」と回答した生徒は、全国平均に比べ7%高いことが分かりました。

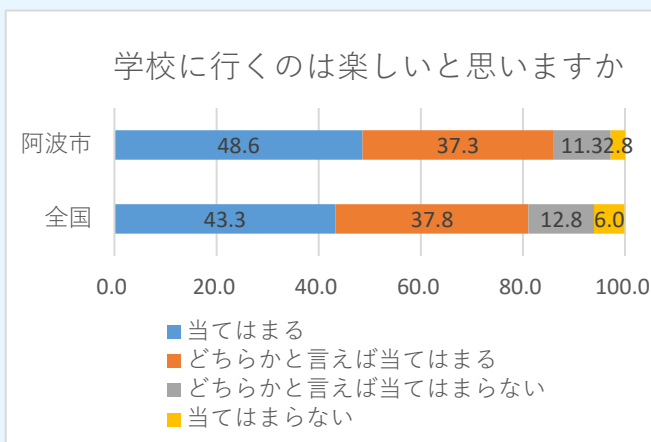
3年前の小学6年生当時の調査では、全国平均より3%低かったので、大幅な改善が図られています。その結果、学力も向上して、全国平均と概ね変わらない結果となりました。



○学校に行くのは楽しいか

「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒について、全国平均と比較すると6%高いことが分かりました。

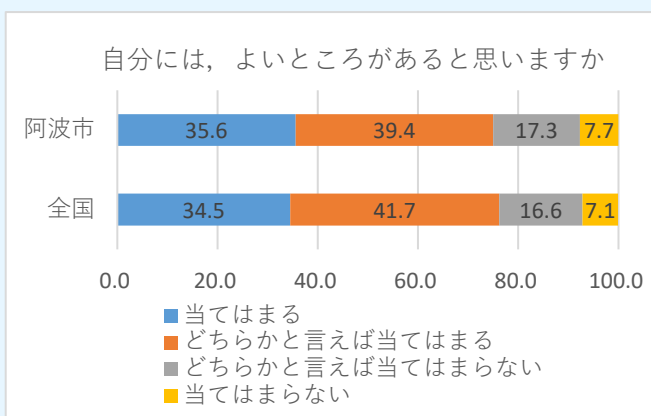
「休校期間中に勉強に不安を感じた」と回答した生徒は、全国平均より12%高く、学校再開時には、不安を抱えていた生徒に対して、寄り添いながら楽しく充実した教育活動が実施されたことが分かります。



○自分によいところがあるか

「自分にはよいところがある」と回答した生徒について、全国平均と比較すると1%高いことが分かりました。

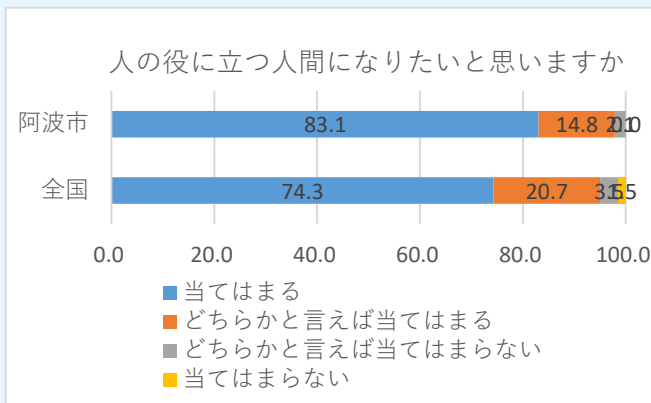
3年前の小学6年生当時の調査では、全国平均より2%低かったので、自己肯定感が育っています。子どもたちの良さを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動が実施されたことが分かります。



○人の役に立つ人間になりたいか

「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒について、全国平均と比較すると9%高いことが分かりました。

「いじめはいけな」と回答した生徒も、全国平均を上回っており、小学校同様、自分もとより他人も大切にする気持ちが育っていることが分かります。

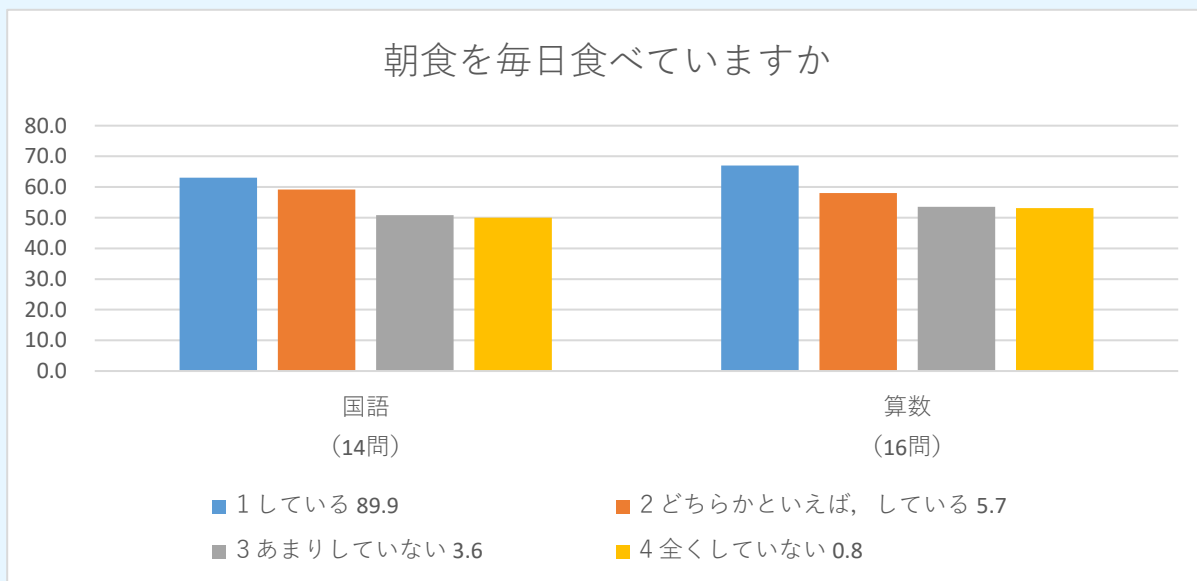


③生活習慣・学習環境と正答率のクロス集計より

○「朝ごはんを食べること」と平均正答率の関係

「朝食を毎日食べていますか」との質問に対する小学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、中学生においても概ね同様の結果となっています。

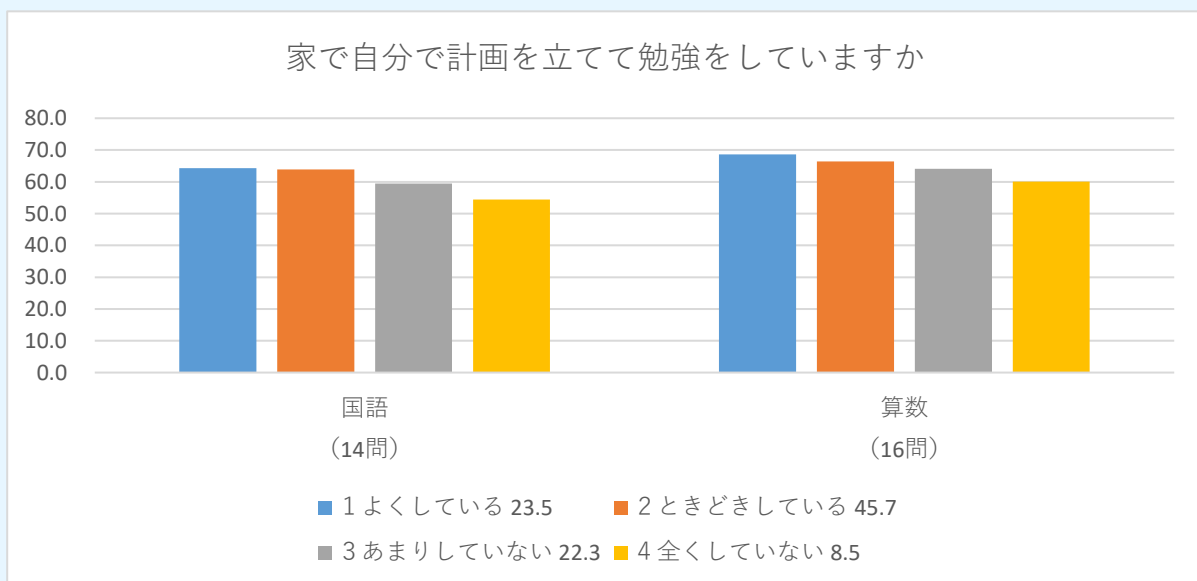
この結果から、朝ごはんを食べている児童・生徒の正答率がすべての教科において高い傾向にあることが分かりました。また、朝ごはんを全く食べていない児童・生徒は正答率が低い傾向があることが分かりました。



○「計画を立てて勉強すること」と平均正答率の関係

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に対する小学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、中学生についても同様の結果となっています。

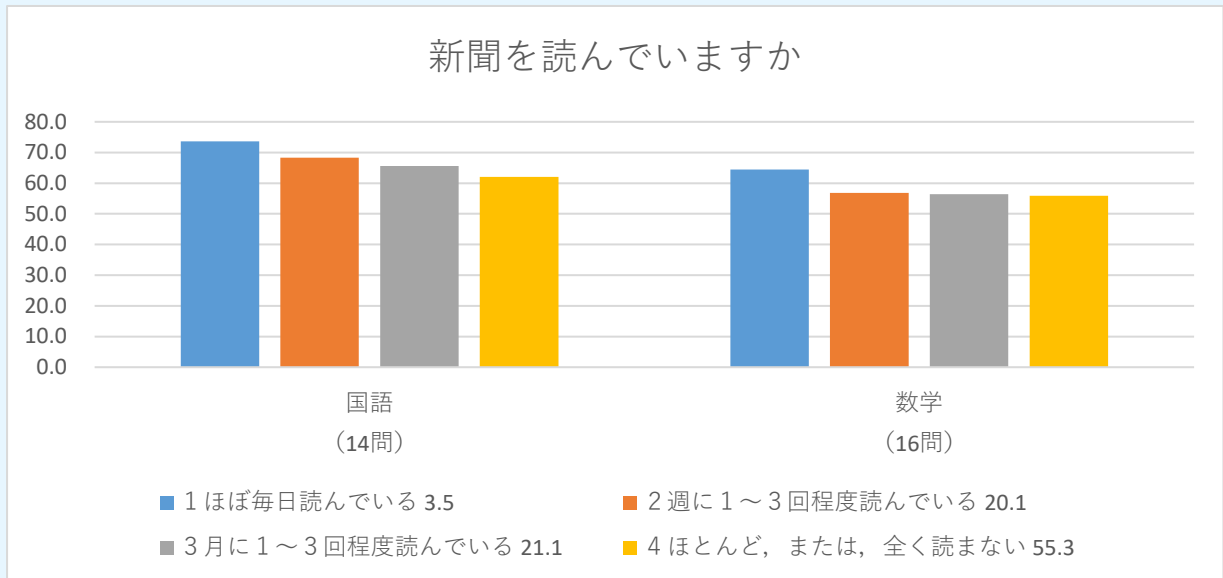
この結果から、家で自分で計画を立てて勉強している児童・生徒の正答率がすべての教科において高い傾向にあることが分かりました。



○「新聞を読むこと」と平均正答率の関係

「新聞を読んでいますか」との質問に対する中学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、小学生についても概ね同様の結果となっています。

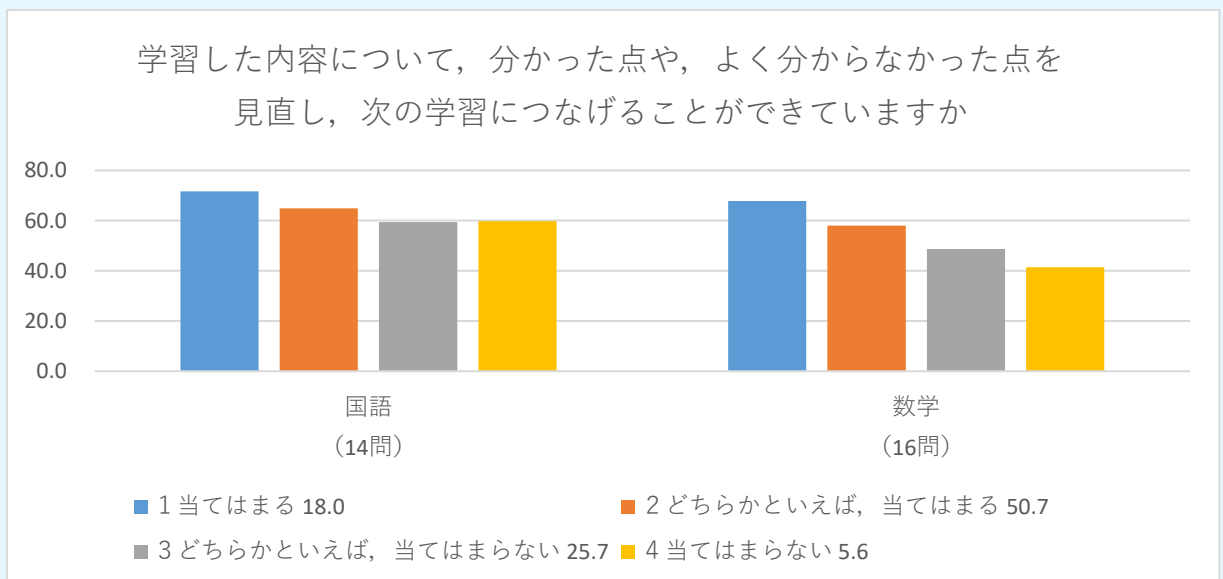
この結果から、新聞を読んでいる児童・生徒の正答率がすべての教科において高い傾向にあることが分かりました。



○「分からなかった点等を見直し、次の学習につなげること」と平均正答率の関係

「学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に対する中学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、小学生についても同様の結果となっています。

この結果から、分からなかった点などを見直し、次の学習につなげている児童・生徒の正答率がすべての教科において高い傾向にあることが分かりました。



4 阿波市の学力向上への取組方針

- 学力向上のための教員の研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を派遣し、TT指導や放課後学習を行います。
- ICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 学力向上推進コーディネーターが学校を訪問し、授業改善等の指導を行います。
- 授業公開や研修会等、小中学校の連携を進め、共通取組体制の確立を進めます。
- 読書活動の推進を図り、児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して、家庭学習の充実を図ります。

5 保護者・地域の皆さんへ

子どもたちの学力向上に向けて、生活リズムを整え、学習習慣や読書習慣を身に付けるためには、学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。

家庭学習の充実や基本的な生活習慣の確立に向けてご協力をよろしくお願いします。

- 家庭で学習する習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 毎日決まった時刻に学習するなど、計画を立てて学習すること。
 - ・ 学校の宿題を確実にすること。
 - ・ 予習、復習に取り組むこと。
 - ・ 学習に集中できる環境をつくること。

- 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんを習慣付けること。
 - ・ 家族のふれあいや話し合いの時間を設けること。
 - ・ テレビゲームやスマホなどの使用についてのルールを決めること。

- 新聞や本を読む習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 親子読書や読み聞かせなど、新聞や本に親しむ環境をつくること。
 - ・ 新聞や本を読むことで、読解力や語彙力を高めること。
 - ・ 社会の出来事に興味を持ち、一般的な知識を身に付けること。

今後ともご協力くださいますようお願いいたします。